



荒佐春祭りて神舞が奉納されます。
階段を上った先にある展望台から
野方の街を一望することができます。

祭神 天照皇大神、八幡大明神、春日大明神、住吉大明神、熊野大明神

照日神社

【場所】野方1589番地
【春祭】3月第二土曜日 / 【秋祭】11月11日

国道269号線と県道64号線がぶつかる三差路沿いのこんもりとした山の上に所在する神社です。この荒佐野の地に神社が創建されたのは、今から約330年前のことです。大阪の摂津・河内・和泉から移住してきた人びとが、伊勢神宮から神霊かんじょうを勧請し祀ったことに始まります。当初は「伊勢神社」と称していました。明治8年(1875年)には、敷地も狭く資産もなかった村社「照日神社」と、無格社ながら場所もよく、資産もあり、社殿も新しく良く世間に知られていた「伊勢神社」の合祀がおこなわれました。伊勢神社は、村社に昇格するにあたり創建から186年間お伊勢様として親しまれてきたその名を廃し、「照日神社」となりました。

